

卒業生からのメッセージ



やまお えり
山尾 依里

平成17年法学部卒業
世界銀行日本理事室

私は現在、財務省からの派遣で、米
国ワシントンD.C.にある世界銀行で
働いています。世界銀行は1946年
に国際通貨基金（IMF）と共に設立
された187カ国が加盟する国際機関
であり、世界の貧困削減を目指して発
展途上国の開発援助を行っています。

この場を借りて、私の大学生活を振
り返り、皆さんに2点ほどアドバイス
させてもらいます。

九州からアジア、そして世界へ目を向けてほしい。

一、大学を最大限に利用してください。
私は現在、仕事の後に大学院で貿易政策を勉強しています。アメリカの学生は、学費の分だけサービスを受けようと積極的に教授のオフィスを訪れ、質問したりアドバイスをもらったりしています。皆さんも九大をフル活用してください。先生方も職員の方も、きつと喜んでサポートしてくれるはずです。

二、九州だけではなく、アジア、そして世界へ目を向けてください。

福岡はアジアに最も近い大都市であり、九大にはたくさん留学生もいます。ぜひ、それを生かしてください。個人的には、アジアの新興国を訪れてみることをお勧めします。これから発展しようとするパワーに圧倒され、大きなエネルギーをもらえるはずです。

これからの時代を担う皆さんは、「あなたは何かできるの?」と聞かれたときに即答できるスキルを身に付けることが大切です。私自身もまだ勉強中の身ですが、一緒に頑張りましょう!皆さんの大学生活が、たくさん発見に満ちたエキサイティングなものになることをお祈りしております。



か い た く や
甲斐 拓也

平成7年歯学部卒業
医療法人社団 優新会 理事長 兼 格闘家

ご入学おめでとうございます!私は現在歯科医師の傍ら格闘家としても常にチャレンジする魂を忘れず毎日頑張っています。皆さんにおかれましては現在、希望に満ちていることと思います。大学生活、とても楽しいです。十分楽しんでください。

在学中は勉強が最重要なのは言うまでもない。しかし、本当に大切なのは、健康な身体と仲間。元気があれば何でも出来る!いろんな人と交流して豊かな人間関係を作ろう。

九大に合格する人って、何でもひとりで出来ちゃう人ばかり。しかしこれからの人生は今までとはちよつと違う。何でもみんな協力してやっていくことが必要。人と力を合わせれば、1+1が2以上の力を出せるんだ。

可能性は無限大。 夢と目標を持って 豊かな人間関係を 築こう。

そして、大学時代は社会勉強の期間でもある。いろいろなものに勤しみ、自分をドンドン磨いたほうがいい。卒業式の日、自分はどういう人間になっているか、それはこれからの自分がどういう生き方をするかで大きく変わる。決して漠然とした日々を過ごさず、ドンドン行動を起こそう。行動を起こすにはモチベーションを高めることが必要。モチベーションを高めるには夢と目標を持つことが大切。常にデッカイ夢を持って生きてもらいたい。可能性は無限大なんだ!



自ら主催したチャリティーイベント「FIGHTING AID 1」のリング上で



おおぐし ゆうこ
大串 裕子

平成23年大学院工学府
博士後期課程 修了
江崎グリーコ株式会社 マーケティング本部
マーケティング部

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。大学ならびに大学院にご入学されたみなさんに、それぞれメッセージを贈ります。

学部1年生のみなさん。特に、自由に使える時間の多い学部1-2年生の間は、興味のあることに積極的に挑戦し、いろんなことを経験してください。教養の授業では、幅広い分野を学ぶことができ、自分のやりたいことを見つけるのに役立つでしょう。私が研究テーマに興味を持ったきっかけは学部1年次の授業でした。勉強だけでなく、留学や企業インターンシップ、サークル活動、アルバイトなど、何事も求めれば応えてくれる環境があります。ぜひ積極的にいろん

ふくしま しんご
福島 慎吾

平成8年理学部卒業
朝日新聞仙台総局記者

ご入学おめでとうございます。見定めた将来がある人も、まだ模索中の人も、実り多き学生生活を送ってください。

私自身は、生き物と関わる仕事や研究職に就きたいと漠然と思って理学部の生物学科に入りましたが、結果的には新聞記者になりました(実は理工系出身も多い職種です)。自分の道を決めるまでには色んな出来事があったわけですが、そんな学生時代は酒を飲んばかり。勉強しろとか、本を読めとか、偉そうに他人に言える資格はありません。

ただ、よくあちこち旅に出かけたことが、私の糧になったと言えます。お金はないのでテント生活です。なかでも大学を休学し、英語も話せないのに一人でカナダ・アラスカに行き、ユーコンという大河をカヌーで1500キロ下ったことは、大きな経験と自信になりました。人との出会いに喜び、別れに泣き、風や雨に身を切られ、熊やオオカミに震え上がり、蚊の大軍から逃げ回った日々が、私を強く、鍛えてくれました。

自分ができると思っていることから、背伸びをしてみよう。



自分ができると思っていることから、背伸びをしてみる。全く新しいことにチャレンジしてみる。私が皆さんにお勧めしたいことです。私はいま、東日本大震災で大きな被害を受けた宮城県で働いています。まだ機会がないなら、ぜひ一度見に来てほしいと思います。お金がないなら、鈍行列車を乗り継いで来てもいい。ひとの生活の一切が破壊され、2万人の命が失われた場所に立ち、感じることは、テレビや本をどれだけ見るよりも、得難い経験になるはずです。

勉強はもちろん大切ですが、ぜひ色んな「無理」や「無茶」に挑戦して、生身の経験をたくさん持っている刺激で楽しい人になってください。

研究や
インターンなど
九大には何事も
求めれば応えて
くれる環境がある。

なことを経験してほしいと思います。大学院にご入学されたみなさん。みなさんはこれから、それぞれの夢に向かって、より専門的な知識を学び、研究に励まれることと思います。九州大学大学院には最先端の研究に取り組める環境があります。限られた時間の中で、この環境をどう活かすかはあなた次第です。自分の研究に情熱を持って取り組み、充実した毎日を送ってほしいと思います。

最後に、私は現在、江崎グリーコでマーケティングの仕事をしています。大学での研究と直結する仕事ではありませんが、自ら希望することで、このような仕事を与えていただきました。もちろん、大学生活や研究を通して学んだ事は大いに役立っています。私も挑戦の毎日です。お互い楽しみながら頑張りましょう。みなさんが充実した学生生活を送られることを心からお祈りしています。